

病理学Ⅰ・Ⅱ・病理学実習Ⅰ・Ⅱ

【通年】集中 常山 幸一、上原 久典、坂東 良美、小川 博久、
尾矢 剛志、松本 穰、西條 康代、邵 文華

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。
(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

<教科書>

□ **ロビンス基礎病理学 原書 11 版 / 豊國伸哉 監訳 高橋雅英 監訳 丸善出版 2018**

→ 世界的な病理学の教科書(訳書)で、基本用語は英語でも記載されています。日本語で学びたい人に薦めます。

【491.6||Ro】

<参考書>

□ **病理組織の見方と鑑別診断 第 7 版(カラーアトラス) / 吉野正[ほか] 編 医歯薬出版 2020**

→ こちらも病理学実習や試験勉強時に推薦される図書で、肝臓は常山先生が執筆しています。

★【蔵本 2 階生命科学閲覧室 491.6||By】

□ **Robbins and Cotran pathologic basis of disease 10th ed : hardcover / Vinay Kumar Abul Abbas Jon Aster Elsevier 2020**

→ 世界的な病理学教科書の詳細版で、将来病理医を志す医学生や病理専攻医に推奨されます。2020 年に発刊された最新版です。

【491.6||Ro】

□ **組織病理アトラス 第 6 版 / 編集: 小田義直 坂元亨宇 深山正久 松野吉宏 森永正二郎 森谷卓也 文光堂 2015**

→ 病理組織を理解するための図譜・アトラスとして医学生、臨床医、病理専攻医まで幅広く利用されています。病理学実習に必携の一冊で、実践的な病理診断を念頭に執筆されており、専門医教育や生涯教育にも活用できます。

【491.6||So】

□ **外科病理学 第 5 版 / 編集主幹: 深山正久, 森永正二郎 文光堂 2020**

→ 「実用性を重視した病理診断医の座右の書」をコンセプトに、現在の病理診断の標準を示すべく WHO 分類、取扱い規約に沿った最新の内容に改訂されました。すべての病理診断医にとっての必携書です。臨床実習中の医学生や研修医が病理診断を調べる図書としても推薦します。2020 年に 14 年ぶりに改訂された待望の一冊です。

★【蔵本 2 階生命科学閲覧室 494.16||Ge||1, 2】

□ **病理コア画像 日本病理学会教育委員会編集**【<http://pathology.or.jp/corepictures2010/>】

→ 日本病理学会が提供するコンテンツで、臓器別に代表的な疾患の病理画像が閲覧できます。画像が綺麗で、理解しやすいサイトです。C B Tを受験するまでに是非学んで欲しい疾患は「コア画像100選」として★印がつけられています。★印のない画像も医師国家試験までに是非学んで欲しい病理画像です。

□ **東京都医学研・脳神経病理データベース 神経病理解析室・新井信隆**【<https://pathologycenter.jp>】

→ 東京都立医学総合研究所が提供する医学生向けの脳神経病理コンテンツで、中枢神経系の正常構造や疾病に関する充実したデジタルアーカイブとなっています。徳島大学病理学のバナーから、学生課から配布されたIDとパスワードを使ってログインしてください。
